

# 岩手山およびその西方の山体変動観測（2000年2月－2001年5月）\*

## Ground deformation monitoring on Iwate volcano by EDM and GPS between February 2000 and May 2001

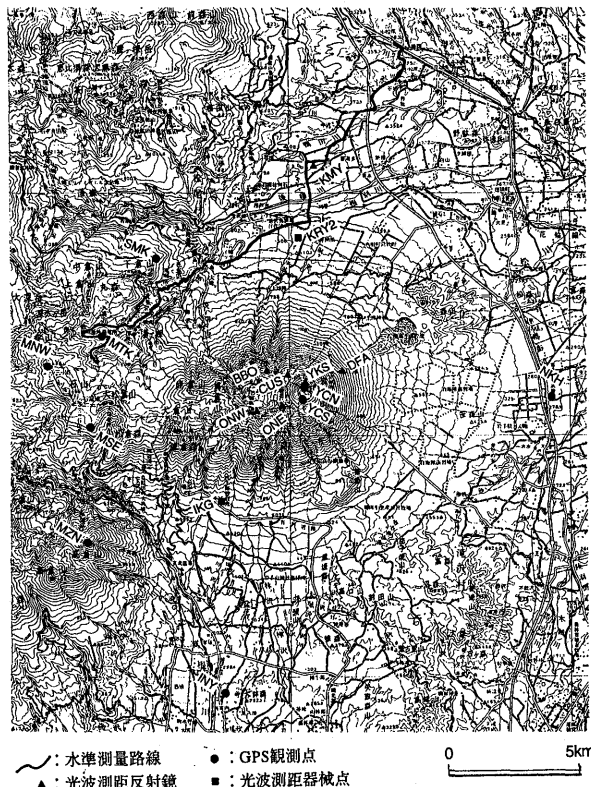
産業技術総合研究所地質調査総合センター\*\*

Geological Survey of Japan, AIST

産業技術総合研究所（旧地質調査所）では、1998年6月から岩手火山の山体変動観測を継続して実施している<sup>1)2)3)4)</sup>。観測網を第1図に示す。

光波測距は、山体の南側と北側に自動連続測距の器械を設置し、山頂部、東中腹及び北山麓の計7点の反射鏡との間の距離を測定するシステムとした。北側の器械点KRY2から山側の反射鏡BBO、CUS、YKS、及びDFA並びに反対の平野側の反射鏡KMYの間の斜距離は、1998年10月から自動連続観測で測定した。第2図に明らかなように、山体の北側では、器械点と山側の反射鏡点の間に少量の伸びの傾向が認められる測線もあるが、大きな変化は認められない。

GPS自動連続観測は、岩手山山頂の薬師火口の南北火口壁に各1点、三石山をはさむ北西及び南東に各1点、参照点3点の計7点にGPSを設置して行っている。また、現地収録型のGPSを、松川温泉西方と下倉山スキー場に新たに設置した。これまでに、地殻変動を示す大きな変化は認められない。標高の高い点では、装置の凍結のため冬期のデータが得られていない。



第1図 岩手山及びその西方の山体変動観測網

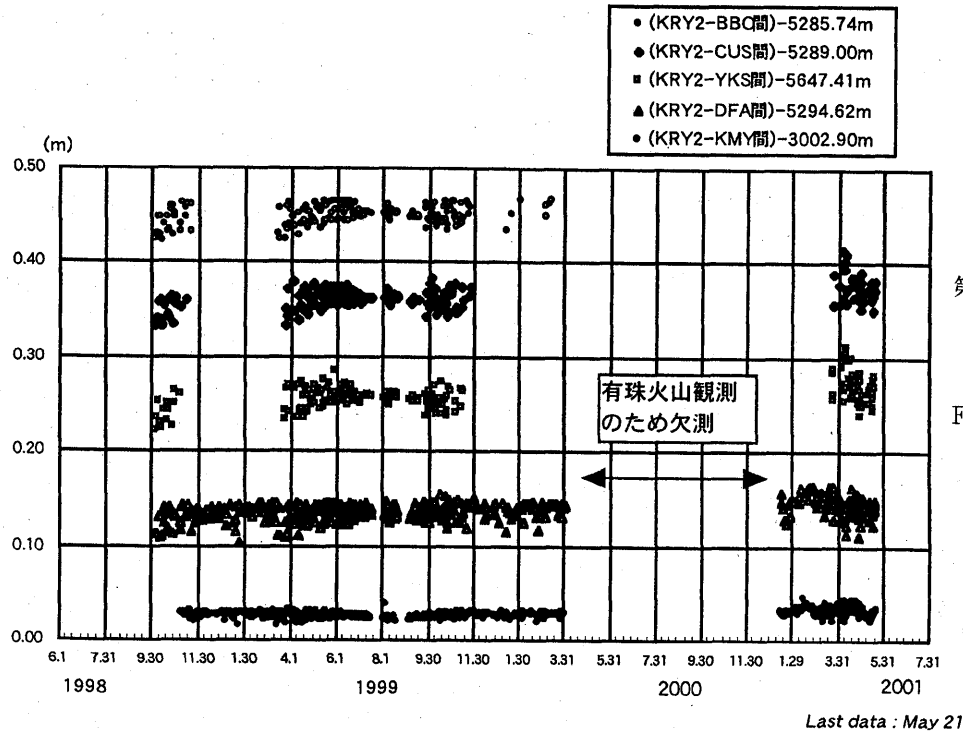
Fig. 1 Ground deformation network around Iwate volcano. Triangle : reflector target; square: EDM instrument station; circle: GPS.

\* Received 4 Sep., 2001

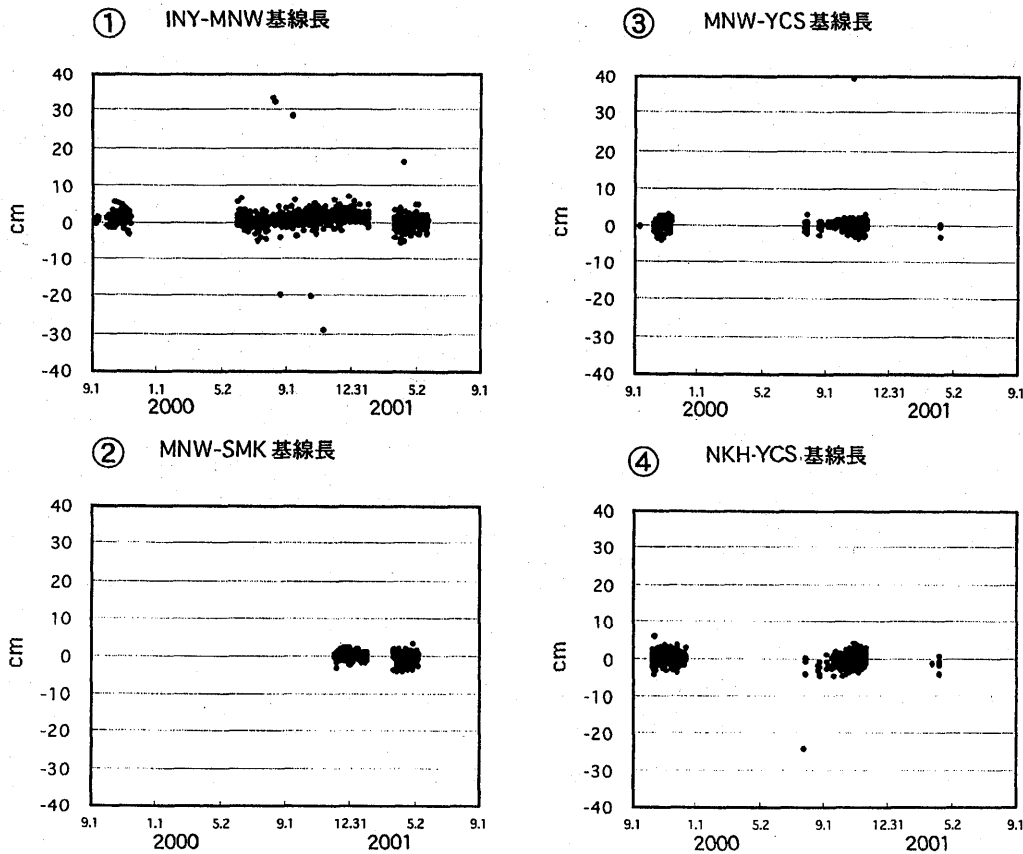
\*\* 齋藤英二・渡辺和明・須藤 茂  
Eiji Saito, Kazuaki Watanabe and Shigeru Suto

参 考 文 献

- 1) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年6月-1998年10月), 噴火予知連会報, 72, 29-30.
- 2) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年10月-1999年2月), 噴火予知連会報, 73, 25-26.
- 3) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1999年2月-1999年5月), 噴火予知連会報, 74, 17-18.
- 4) 地質調査所 (2000) : 岩手山の山体変動観測 (1999年5月-1999年10月), 噴火予知連会報, 75, 42-44.
- 5) 地質調査所 (2001) : 岩手山の山体変動観測 (1999年10月-2000年1月), 噴火予知連会報, 76, 35-36.



第2図 岩手山光波測距結果  
 夕方の方のデータのみを示した。  
 Fig. 2 Change in slope distances on the north of Iwate volcano. Selected data in the stable atmospheric condition in the evening are plotted.



第3図 岩手山及びその西方のGPS観測結果  
 Fig. 3 Change in base lines for selected GPS stations around Iwate volcano.